



# 境の明神 遊歩道が完成しました。

令和2年11月29日（日）境の明神地域づくり懇談会のメンバー18人が、境の明神ポケットパークから境の明神までの遊歩道を整備しました。



## 【境の明神とは】

陸奥国（福島県白河市）と下野国（栃木県那須町）の境に並ぶ二つの神社で、国道294号（旧奥州街道）の県境にそれぞれ位置しており、白河側は白河市指定史跡となっています。





境の明神地域づくり懇談会は、境の明神と地域の活性化を目的に、平成27年から懇談会を行ってきました。これまでは境の明神の成り立ちや歴史を紹介したパンフレットや、境内の句碑の説明資料を作ってきましたが、令和元年3月に県が「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業」で国道294号に境の明神ポケットパークを整備した事を受け、境の明神を参拝する人が安全に通行出来るよう、ポケットパークから社に通じる杉林の中に遊歩道を通し、登り口に階段を整備しました。



明神境神社氏子社総代表の齋藤さんは、コロナが落ち着いたらポケットパークを活用してイベントを開きたいと今後の計画を話してくれました。

**【お問い合わせ】**  
 福島県県南建設事務所  
 主幹兼企画管理部長 浜津 威彦  
 TEL:0248-23-1617